



テーマ | 海

Pick UP!

三島由紀夫に衝撃を受けた高校生の話題作！

『海を覗く』伊良利那/著(新潮社)

ISBN:978-4-10-355441-7



美術部に所属する主人公・圭一は、クラスメイトの『北条司』の美しさに魅了され、彼の肖像画を描き始める。二人の仲は深まっていくが、夏休みのある出来事が圭一の心を打ち砕き…。儚い美と底知れぬ喪失感を洗練された巧みな文章で描く。新潮新人賞史上最年少受賞作。



『カプチーノ・コースト』片瀬チヲル/著(講談社)

ISBN:978-4-06-530025-1



パワハラを告発したが逆に悪者扱いされ、居心地が悪くなり休職することにした主人公・早柚。ひよんなことから彼女は海辺でゴミ拾いを始め、さまざまな人々と出会いながら自分を見つめ直す時間をつくる。悪意のない言葉に傷つく痛い気持ちが静かな心情と共に伝わってくる作品。



『わたしたちは、海』カツセマサヒコ/著(光文社)

ISBN:978-4-334-10429-0

海辺の街を舞台にした全7編の連作短編集。

日常に息詰まりを感じている人、大切な人の死と向き合う人など、多様な背景を持つ人々が悩みや秘密を抱えながら、波のように関わり合って生きる様子を巧みに描き出している作品。



QRコードを読み込むと、品川図書館のホームページから本の詳細を確認することができます。

→裏面もチェック！

『海とジイ』藤岡陽子/著(小学館)

ISBN:978-4-09-386526-5



瀬戸内海の美しい島々を舞台にしたおじいさん達の連作短編小説。人生の荒波を生き抜いてきた3人のジイと、挫折を味わい悩みを抱えた若者との心の交流を描いた物語。心に響くジイ達の言葉が印象的。



『江ノ島西浦写真館』三上延/著(光文社)

ISBN:978-4-334-77661-9



心の傷を抱えた人々が集う江ノ島の写真館を舞台にした物語。祖母の遺品を整理するために、主人公・繭は写真館を訪れる。かつては写真家を志すもカメラを捨てた繭は、注文主が受け取りに来ないまま写真館に残された写真の謎を、美青年・真鳥秋孝とともに解いていく。



注目の新刊

6/1～6/30 の間に新しく受け入れた本の中からおすすめを紹介！

タイトル	著者 出版社	ISBN
わたしを庇わないで	石田夏穂/著 集英社	978-4-08-770057-2
ここはこどものいない国	武田綾乃/著 講談社	978-4-06-543268-6
宝石のこえ	野沢きみ/著 講談社	978-4-06-543527-4
ジンタルス RED AMBER	皆川博子/著 河出書房新社	978-4-309-03267-2
湾	宮本輝/著 新潮社	978-4-10-332531-4